

9月9日(水) 給食の「校長先生の感動コーナー」

全校生徒のみなさん、こんにちは。丸山校長先生です。

ハッシュドポーク、とてもおいしいですね。おいしく給食を食べているところ、少しだけ校長先生の話に耳を傾けてもらえるとうれしいです。今日は、「校長先生の感動コーナー」として、みなさんにぜひ知ってほしい、本当にすてきな「ちょっといい話」を紹介します。このコーナーでは、学校の中で見つけた「心が温かくなる瞬間」を、全校のみなさんと共有していきたいと思っています。

一昨日の月曜日のことです。2年生の教室で、体育祭の係決めが行われていました。いくつかの人気がある係を決めるとき、その場には欠席している生徒が何人かいました。普通なら、その場にいる人たちだけで決めてしまったり、くじ引きになったりするところかもしれません。

でも、ある教室で、こんな声があがりました。「Aさんは、確か去年、希望者が多かったこの係を自分から他の人に譲ってくれたんだよね。だから、今年はAさんにやってもらうのがいいんじゃないかな。」

すると、周りの仲間たちからも「そうだね」「うん、そうしようよ」と自然に賛成の声が広がり、今年みんなの温かい思いによって、その人気の係をAさんをお願いすることに決まったそうです。

校長先生は、この話を聞いたとき、本当に胸が熱くなりました。深く感動したんです。

まず始めに、去年、誰かのために自分の希望の係をずっと譲ってあげられたAさんの優しさ。そして、そのAさんの優しさをずっと覚えていて、「今年はAさんに」と言葉にした生徒の思いやり。さらに、その言葉を当たり前のように温かく受け止めて決めた、周りの仲間たち全員の心の美しさ。

誰かの見えない優しさに気づき、それをちゃんと大切にできる人がいること。そして、その温かい気持ちにみんなで寄り添えること。これこそが、取手二中のみんなの合い言葉、「みんなの笑顔のために」を実践する姿、お互いを思いやる、本当にすばらしい姿だと感じます。

こうした思いやりの輪が、学年を超えて、この二中全体に広がっていったら、学校はもっと安心できて、もっと楽しい場所になるはずです。すてきな姿を見せてくれた2年生のみなさん、本当にありがとう。

それでは、残りの給食もおいしくいただきます。午後も元気にいきましょう。校長先生からの感動コーナーでした。ありがとうございました。